

# 自治会町内会 は 備えています

## もしものときに

市内で震度6以上の地震が発生する確率は、今後30年間で81パーセントといわれています。またゲリラ豪雨や台風などによる災害は、毎年のように日本各地で引き起こされています。災害発生時には、地域の住民同士の協力が大きな力になります。自治会町内会の災害に備えた取り組みを紹介します。

### 防災訓練

～近所を知るきっかけにもなります。参加しましょう～

自治会町内会では、火災の初期消火や心臓マッサージなどの救命救急、住民の安否確認などの訓練を行っています。消火栓につないで放水することのできる初期消火用の器具を購入し、火災に備えている自治会町内会もあります。

▶防災訓練を行っている自治会町内会では、回覧板や掲示板などで訓練の開催をお知らせしています。詳細はお住まいの地域の自治会町内会へ



### 非常食などの備蓄



自治会町内会の中には、災害発生時に会員に配布する食料品などを、会費で備蓄している団体もあります。また住民自身で救助活動ができるよう、バールやジャッキ、救急セットなどを用意している団体もあります。

#### 備蓄品の一例

水、アルファ米、ヘルメット、おむつ、簡易トイレ、アルミ簡易寝袋、ポリタンクなど

家庭でも最低3日分の備蓄をしましょう。

▶家庭での備蓄品の詳細は



### 見守り

自力で避難することが困難な高齢者や障害者などの、安否確認や避難支援などが迅速に行われるよう、見守り活動などを通じて、日頃から顔の見える関係づくりをしています。



### 地域防災拠点

災害時に自宅に住めなくなった人が避難生活を送る地域防災拠点では、日頃から「地域防災拠点運営委員会」の皆さんが、運営マニュアルの整備や拠点の防災備蓄庫の管理、訓練の企画などを行っています。

この運営委員会でも、自治会町内会は中心的な役割を果たしています。

地域防災拠点は、避難した皆さんが協力して運営することになります。また拠点の収容人数は限られ、体育館や教室での生活はストレスもたまりがちです。自宅に倒壊や焼失などの被害がないときは、自宅で生活を送り、情報や物資を地域防災拠点で得る「在宅避難」をしましょう。



拠点訓練に参加しましょう。

▶拠点訓練の実施日は



※取り組みの内容は、自治会町内会により異なります

災害を乗り越えるには、皆さんの備えと自治会町内会の「ご近助の力」が大事だね



横浜F・マリノス マリノスケ 港北区ミズキー

自治会町内会に加入して、もしものときも地域の絆で乗り越えよう

自治会町内会への加入や活動内容は2～3ページで

●問合せ 区役所地域活動係 ☎540-2234 ☎540-2245